

おてら

# 春彼岸法要会

3月17日～23日

三月二十日(月・祝)

午前十一時より

彼岸中日法要

護持会総会

正午 おとき

おときも椅子席になっています

ご本尊様にお参りしてから

お墓参りをしましょう

先祖への供養は

私への供養

常例十六日講  
毎月十六日午後一時より  
お経練習・法話会

写経会

毎月第二・四金曜日  
午後一時より

## 和顔愛語

住職 蒲原 靈英

今号では、新年号に載せた専如門主のご親教にありました、もう一つのお言葉「和顔愛語」について述べたいと思います。

この言葉も、前号の「少欲知足」と同様に典故は「仏説無量寿経」で、「和顔」とは穏やかな笑顔、「愛語」とは優しい思いやりのある言葉です。「先意承問」と続き、相手の気持ちを先んじて察しその想いを満たしてあげると説かれます。二つの言葉は別のことを言っているわけではありませんが、相手の心の内を真に思いやるからこそ、その想いを満たそうと笑顔と優しい言葉で接することに繋がります。とは言え、相手の心の内を真に思いやることは非常に難しいことです。私達は、人の思いを知ろうとするより、まず自分の思いを押し付けて、その思いが分かってもええないと相手を悪く言う。相手のためと思っただけで、実は相手を傷つけていたかもしれない。悲しいかな、私達の思いやりの心なんぞは、親切の押し付けや独り善がりになってしまいう不完全なものではないでしょうか。

思いやりの心を仏教では「慈悲」と言いますが、親鸞聖人も「この慈悲始終なし」(『歎異抄』第四章)と言われ、「人間が持つ慈悲というのは、生き物を憐れみ、悲しみ、育む心であるが、どれほどかわいそうだ、気の毒だと思っても、思いのままに救うことはできないのだから、このような慈悲は完全なものではない」と、何の見返りも求めない仏の慈悲とは違うと説かれます。しかし、どうせ不完全な思いやりの心しか持たず、人のためとは言いつつながら所詮自己都合が入った行いしかできないのだから、思いやりの心を持って行動しなくてもよいと言われているわけではありません。「人間は、所詮そのような不完全な愚かなものなのだ」と自覚したうえで行動しなさいと勧められています。

不完全でも愚かでもよいではないですか。笑って過ごしても一日、怒って過ごしても一日。どうせなら気持ちよく笑って過ごしたいものです。あなたの笑顔と優しい言葉が、周りの人達を笑顔に心優しくしてくれるはず。もし、誰かを傷つけてしまったら、またそこから何ができるか考えてみればよいのですから。お彼岸から実践してみませんか。

合掌

# 御正忌報恩講



本山・本願寺は1月9日午後から16日午前まで、宗門にとって最も大切な御正忌報恩講法要を営み、全国各地から多くの僧侶・門徒が参拝した。同法要は、宗祖・親鸞聖人の祥月命日(16日)にあたり、聖人のご恩徳に報おうと毎年営んでいる。

ご門主が御影堂で御真影(聖人像)のご安置されるお厨子の扉を開けられる9日午後の「御親開扉」に始まり、最終日の聖人ご命日まで7昼夜28座を営んだ。15日にはご門主がご親教を述べられた。初夜には蓮如上人の時代に僧侶・門徒が上人に自分の信心を告白して批判を仰いだことが始まりとされ、御正忌で脈々と受け継がれてきた大切な儀式である「改悔批判」が行われた。堂内で僧侶と門徒が低頭して「領解文」を唱和し、厳かな雰囲気の中で信心の要が説かれた。期間中の御影堂には、聖人のご生涯を描く「御絵伝」が掛けられ、13日にはその詞書である「御伝鈔」が拝読された。

今年、伝灯奉告法要で御影堂内の外陣すべてにいが設置され、例年とは一味違う光景が広がった。

## 春の日帰りバスツアー

## 4月20日(木)

# カーブドッチ ヴィネスパ

会費 ¥ 6, 5 0 0 - タオル付

浄光寺

10:00発/16:00着

ご兄弟姉妹、ご友人等お誘い合わせの上  
ご参加をお待ちしています!

申し込み 025-229-0629 お寺へ

